

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 正同化学工業株式会社赤穂工場

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

環境基本方針

——— 理 念 ———

正同化学工業株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動する。

——— 方 針 ———

正同化学工業株式会社は、環境に関する基本理念に従い、亜鉛、ニッケル、コバルト化合物等の製造販売を中心とした事業活動において、環境への影響を少なくする事が重要な課題であることを認識し、以下の活動を行う。

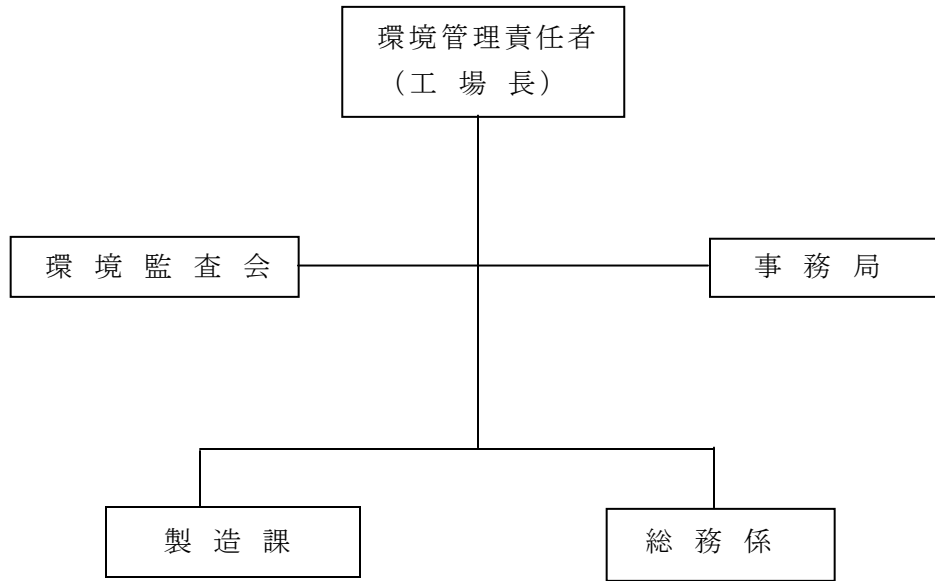
1. 環境関連の法規および受け入れを決めたその他の要求事項を遵守する。
2. 事業活動に伴う環境への影響を捉え、継続的な改善及び汚染の予防に努める。
3. 自然環境の豊かな赤穂に立地することをふまえ、地域の環境への配慮を行う。
4. 環境管理の重点項目として、以下の内容に取り組む。
 - 4.1 電気及び燃料の省エネルギーの推進。
 - 4.2 有害化学物質の適正な管理を行い、排出量の削減を推進する。
 - 4.3 環境に配慮した製造法の開発、製品の開発を行う。
 - 4.4 排水量の削減と適正な排出水の品質の管理を行う。
 - 4.5 廃棄物の発生量の削減を推進し、再資源化の検討を行う。
 - 4.6 適正な燃料管理を行い、大気汚染物質の適正管理を行う。
有害粉塵の排出を適正管理し、排出量の削減に努める。
5. この方針の達成のため環境目標を設定し、管理計画を立て実施し、見直しを行い、全従業員が達成に向けて努力する。
6. この環境方針は全従業員に周知するとともに、一般の人にも要求があれば開示する。

正同化学工業株式会社

赤穂工場長

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

環境活動組織



環境監査委員長	工場長
〃 代理 (副委員長)	総務係係長
大気関係公害防止管理者	製造課係長
水質関係公害防止管理者	総務係係長
事務局	総務係係長

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果		今後の取組計画
自動車公害対策	●自動車NOx・PM排出量の削減	◆配送単位を大きくした。 ◆小口の場合は積み合せをした。 ◆帰り便を利用し、効率を図った。	●効率を考えて配車する。 ●共同輸配送 ●アイドリングストップの推進 ●エコドライブの励行 ●下請け業者への啓蒙
化学物質対策	●化学物質の漏洩はなかった。	◆化学物質の適正保管 ◆施設の維持管理	●化学物質の適正保管 ●施設の維持管理
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	●エネルギー効率を考慮した生産を計画し、実行した。 また空調設備の更新を行った。	◆設備の保守管理に努めた。 ◆効率のいい生産を計画した。 ◆酸化亜鉛工程で導入をしたリジエバーナーの重油使用量を通常バーナーと比較して、25～30%削減した。 ◆省エネタイプの空調機に更新した(2台) ◆全空調機の点検整備による熱効率の改善を図った。 ◆県条例による報告	●エネルギー効率を考慮した工程の見直しや設備の保守管理を継続して行う。 ●環境にやさしい高効率・低NOxボイラーに更新する。 ●酸化亜鉛工程で使用するボイラーに熱効率の良いタイプをテストし持続性、再現性、耐久性を確認する。 ●西沖工場のコンプレッサの一元管理と台数制御化を検討する。
廃棄物対策	●廃棄物排出量の削減に努めた。	◆ゴミの減容化を図った。 ◆ゴミの分別に努めた。 ◆生産工程から発生した副産物を溶解して工程に戻し、再利用した。 ◆木製パレットから樹脂製パレットへ順次転換し、廃棄物の抑制に繋がった。 ◆コピー用紙の裏紙を使用して紙使用量の削減を図った。	●ゴミの減容化を継続する。 ●ゴミの分別を徹底する。 ●木製パレットから樹脂製パレットへの100%転換を目指す。(現状90～95%) ●コピー用紙の裏紙使用や圧縮プリントなどを実践し、紙の使用量を削減する。 ●リユース、リサイクル化を図る。
グリーン購入対策	●環境に配慮して原料を購入した。	◆原料購入の際にはグリーン調達を推進した。 ◆事務所の備品を購入する際にはエコ商品、グリーン商品を購入するようにした。	●環境に配慮した原料を選定し、優先的に購入する。
環境美化活動の実施	●地域社会が行う環境保全活動に参加した。	◆地域社会が行う中心市街地周辺の清掃活動に参加した。 ◆赤穂、西沖工場及び東沖倉庫、駐車場周辺の清掃や草刈りを行った。	●地域社会が行う環境保全活動に参加する。 ●敷地境界線周辺の清掃を定期的に行う。